

予算決算委員長報告

令和4年6月16日

去る6月3日に開議されました本会議において、予算決算委員会に付託された「議第62号 令和4年度安来市一般会計補正予算（第2号）」及び「議第63号 令和4年度安来市病院事業会計補正予算（第1号）」の2件の議案について、6月8日に「全体会」を開催し審査を行いましたので、審査経過の主な部分と結果を報告いたします。

はじめに、「議第62号」の審査内容の主なものとして、「4款 衛生費」の「再生可能エネルギー普及事業」について、委員より「事業の委託先は、どの様なところに依頼されるのか」との質問に対し、執行部からは「一般競争入札を予定しており、他の自治体でビジョン策定の実績がある業者などを想定している」との答弁がありました。

また、委員より「一般競争入札なので、日本全国の業者の中からという考え方でよいか」との質問に対し、執行部からは「一般競争入札でも制限を設けることがあり、営業所などの所在地のエリアや、ビジョン策定の実績があるところなどの要件を設けながら実施することになる」との答弁がありました。

続いて、「6款 農林水産業費」の「水田園芸推進事業」について、委員より「ハウスが整備されると、アスパラガスの生産量はどのくらい増えるのか」との質問に対し、執行部からは、「令和3年度実績は7,070キログラムであった。整備後は10,350キログラムを想定している」との答弁がありました。

また委員より「アスパラガスは高収益作物ということで期待されているが、産地育成が大きな課題となっている。非常に有効な事業だと思っており、JAや農事組合法人と協力して、実効性が出るよう最後まで手厚い支援を継続し、安来市の一つの大きな特産品になるよう、育成していただきたい」との意見もありました。

続いて、「10款 教育費」の「学習支援員・スクールスタッフ配置事業」について、委員より「学習支援員は4校、スクールサポートスタッフは3校に配置されるが、選定理由は何か。また、今後も予定があるのか」という質問に対し、執行部からは「選定は、特別支援教育支援員を要望していたが、そこから漏れた学校を中心に、現状をしっかりと精査した上で配置をした。今後については、年度ごとの国・県補助金であることから、想定ができない」との答弁がありました。

次に、「議第63号」に関しては、委員からの質疑等はございませんでした。

採決においては、「議第62号」、「議第63号」とも全会一致で執行部提出原案の通り可決すべきものと決しました。

以上、予算決算委員長報告といたします。